



ゴロスケ報々



写真：野草の調査と保護
上原

ハンショウツル キンポウゲ科 4月中旬に見られます。

●友の会プロジェクト紹介(畑プロジェクト)●

こんにちは。畑プロジェクトです。

私たちは第1第3土曜日の午前中に、森の中の畑を利用させていただいています。周辺の草を刈ったり、落ち葉を集めて堆肥を作ったり、土を耕したり、種をまいたり、苗を植えたりしています。土に親しみながら、小さな虫やミミズ、草花、鳥を見つけてはお互いに呼びかけ合って共有し、畑作業を楽しんでいます。

姿は見せないけれど、ネズミやモグラ、タヌキやウサギもきっとこの場所を好きでいてくれることを信じて、生き物にやさしい活動をしているつもりです。もし気になれば、活動日にのぞいてみてください。また、6/17(土)には作業体験ができる行事「畑と作物をつくろう」を予定しています。

メール申し込みで先着8名、どなたでもご参加できます。生き物にあふれた畑を目指して活動を続けていきます。



Mu

“ビビドツリ” かゆいよ

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●3月定例会報告●

日時 2023年3月19日(日) 9:15~11:10 オンライン併用会議
出席者 青木、今村、大浦、大西、落合、岸本、志釜、篠原、鈴木、関根、高橋、中里、中塚、西山、星隈、山口、渡部、和田、観察センター掛下R、尾崎R

議題

- 1 友の会の1月から3月までの行事・活動報告をしました。
「森を守るボランティア体験」は2月19日、5名参加者がありました。(カワセミファンクラブ担当)
PJ行事では「季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)、「みんなでバードウォッチング」「はじめてのバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)、「森の作業体験」(雑木林ファンクラブ)、が実施されました。
- 2 6月までの友の会行事予定・活動予定を確認しました。
実施予定の行事
「森を守るボランティア体験」(観察センター共催)「季節の森を歩こう」「みんなでバードウォッチング」「森の絵本を楽しもう」「畑と作物を作ろう」「森の作業体験」「定点カメラで動物調査」「カワセミファンクラブ定例写真展」「安全管理講習会(ウィズコロナでの安全な活動や行事の運営)」が予定されています。
- 3 その他
・ごろすけ館を再開します。ただしテーブル、椅子は置きませんのでご了承ください。
- 4 センターより センター便りのページをご覧ください。

<次回の定例会> 5月21日(日) 9:15~ を予定しています。(原則対面)

★定例会は会員どなたでも出席できます。原則対面ですがオンライン参加も出来ます。

会員の皆さま、是非一度お気軽に定例会の様子を見に来てください!

以上

●3月理事会報告●

日時 2023年3月19日(日) 11:25~12:15
出席者 青木、今村、大浦、大西、落合、関根、中里、中塚、西山、星隈、山口、掛下R、尾崎R
(欠席:秋元、漆原、村松)(オンライン併用)

議題

- 1 定期総会準備
・理事・監事案及び分担(ホームページ→西山、行事→片岡)について確認しました。
・オンライン併用、議案書、進行・分担・準備日程について確認しました。
- 2 安全管理
・次年度講習会の企画内容を決定しました。
・事故・危険情報等なし。
- 3 その他
・(次年度センター事業については定例会で確認)
・今後の定例会開催方法(原則会場開催・オンライン併用)について確認しました。

<次回理事会>

日時 5月21日(日) 11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(原則対面。オンライン併用)

議題 分担確認、安全管理、その他

以上

●森を守るボランティア体験●

友の会活動報告

開催日:2月19日(日) 9:15~12:00 参加者:一般参加者5名、スタッフ5名

森や友の会の概要説明の後、「冬の野鳥の観察・記録」体験で森を歩きました。

センターの出発時に上空をノスリが舞うなど、短時間の観察でしたがお天気にも恵まれ、それなりに充実した体験を楽しんでもらえたものと思います。

担当:カワセミファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)●

開催日：2月25日(土)
参加者：4名うち、小学生1名
スタッフ：8名

7区にてシラカシの小径木を間伐しました。その後、炭小屋にて竹細工の体験をしました。小学生も楽しく体験していただきました。

雑木林ファンクラブ 星隈

●初めてのバードウォッチング●

開催日：2月26日(日) 参加者：16名 スタッフ：11名
ほとんどの方が、バードウォッチング初体験 前半は室内でバードウォッチングの基礎知識のお話。後半は野外へ。まずは双眼鏡の使い方を練習。広場に仕掛けた鳥のフィギュアを皆で探しました。ここから2グループに分かれて森の中へ入りました。

アオジ、エナガ、モズ、ヤマガラなどが次々と現れ、2グループ合わせて21種類の野鳥を見聞きできました。皆さん「楽しかった」と言っていただきました。 鳥のくらし発見隊 中里

●2023年度安全管理講習会●(友の会会員向け)

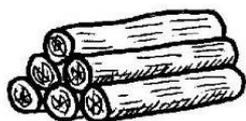
友の会行事のお知らせ

3月からコロナ感染症(COVID-19)へのマスク着用の判断基準が変わりました。5月からは医療面でも感染症法上の扱いが変わります。ただ一方で、引き続き重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある方への感染防止への配慮も求められています。これに伴い制限をかけてきた友の会の活動についても見直しをはかることとなりますが、単にコロナ前に戻すということではなく、コロナの影響下で進化した私たちの活動の成果も享受していくことが期待されます。

このような状況下で、今年度の安全管理講習は、各プロジェクトへのアンケートも踏まえ、当会の活動や行事における安全と活動のガイドラインを考える場にしたいと思います。その内容は自然観察センターや横浜市と共有し、早期の具体化につないでいきます。

ぜひ多くの会員にご参加いただきたいと考えております。

1. タイトル：「ウィズコロナでの安全な活動や行事の運営」
2. 開催日時：2023年5月21日(日) 13:00~15:00
3. 開催形態：自然観察センター研修室 原則対面(感染状況によってはオンラインあるいは併用)
4. 内容
 - 1) プロジェクトアンケートの報告 (安全管理担当)
 - 2) プロジェクトからのコメント (各プロジェクト代表)
 - 3) 意見交換とまとめ
5. 参加申込：プロジェクトリーダー経由または友の会イベント申込用アドレスへ。
entry@ynstomo.org
6. 申込締切：5月14日(日) 中塚(安全管理担当)



イラスト：Mu

●森を守るボランティア体験●

日時：2023年6月18日(日) 9:30~12:00
自然観察の森の紹介や粗朶柵づくりの体験も予定しています。
申込：観察の森 HP をご覧ください。 担当：雑木林ファンクラブ

●森の作業体験(間伐体験)●

日時：2023年5月27日(土) 10:00~12:00

ノコギリを使って木を伐採する体験ができるほか、薪割りやコースター作りや竹細工なども体験できます。当日はドラム缶窯を使った炭焼きを行っています。見学も可能です。

集合：10時までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：5名(中学生以下、保護者同伴) ※人数は状況により変更します。多い場合は先着順とします。

申込期間：4月26日(水)~5月25日(木)

※天候などにより、やむを得ず中止する場合がありますことをご了承ください。

Fax (045-894-8892) (観察の森) または、Eメール (entry@ynstomo.org) 担当：雑木林ファンクラブ

●第35回定期総会報告●

日時：2023年4月8日（土）

場所：自然観察センター研修室（オンライン併用）

議案：2022年度事業報告、決算・監査報告、2023年度事業計画、予算、理事・監事選任

定期総会が4年ぶりに会場開催され、会員13名（内3名がオンライン）が参加、議長に岸本道明さんを選出、議案はいずれも原案どおり承認されました。

<2022年度報告>（人数は参加延べ人数。 ※…センター行事一般は不算入）

友の会行事 25 項目・110 回（会員 610 人、一般 367 人）

センター行事支援 8 項目・67 回（会員 103 人）※

ネットワーク活動 4 項目・1 回（55 人）

会議等 5 項目・19 回（199 人）

行事報告 合計 42 項目・197 回（会員 967 人、一般 367 人）

【参考】コロナ前（2019） 42 項目・219 回（会員 966人、一般 996 人※）

コロナ前比 ▲22回(▲10%) +1人(±0%) ▲629人(▲63%)

PJ活動 33 項目・373 回（2,967人）

事務局内調査等活動 3 項目・9 回（27 人）

事務局事務 4 項目・41 回（88 人）

PJ活動報告 合計 40 項目・423 回（3,082 人）

【参考】コロナ前（2019） 43 項目・534 回（2,634 人）

コロナ前比 ▲111回(▲21%) +448人(+17%)

◆行事回数は2019年度の9割まで回復（会員参加者数は同水準まで回復）しましたが、一般参加者数の回復の遅れ（4割弱）が顕著です。厳しい中、PJ活動も回数で8割まで回復、人数ではコロナ禍前を上回るまでに回復しました。

<2023年度計画>

行事計画 44 項目・262 回 ※（内、友の会行事(主催・共催) 175回)

PJ活動計画 40 項目・473 回

<理事・監事選任>（役員・担当理事互選も同時に確認）

PJ 枠：秋元（ネットワーク）・大浦（副会長）・中里（事務局長）・西山（ホームページ）・星隈

事務局 枠：青木（会計、定例会司会）・漆原（会員名簿管理）・中塚（安全管理）・

片岡（会員交流行事、新任）・水上（新任）

会員公募枠：山口（会長）・今村（編集、広報）

監事：大越・久門（新任）

■長期目標と中期計画

◆長期目標（2020～29）

「未来へつなぎ、みんながつながる、生きものにぎわいのある森」

◆中期事業計画(2023～25)

① 生物多様性を育む豊かな自然環境を次の世代へつなぎます。

② 多くの人々を豊かな自然環境につなぎます。

コロナ禍で厳しい状況でしたがかなり回復してきました。長期目標及び中期計画の実現に向け、着実に進められるよう、ご協力のほどよろしくお願い致します。

（会長 山口）

実家の庭の木

定年になればいままでよりは自分の時間が多くとれるようになっていた。しかし実際に定年となったら思っていたほど時間が取れない、というか、いやなんか全然時間が取れなくなってる気がする。

仕事もなんか増えたが、問題は老々介護の坂道を下りかけてきていることがかなり大きい。

そんなこんなで最近の実家に行くことが多い。私が中学生の頃に建った家なので築45年以上になる。建ったところは周りには何もなく、あるのは栗林、梅林、竹林、今では想像もできないような田舎のようなところであった。

我が家にも縁側から出られる小さい庭があり、隣の梅林は自分の庭のようにして遊んでいた。当時はアメリカシロヒトリという虫が出てきた頃で、梅雨頃になると梅にも真っ白な綿あめみたいな巣がたくさん作られる。自分の土地の梅ではないがこれを燃やして退治するのが子供のころの仕事であった。

今は縁側も無くなってしまい、遊んでいた梅林も全て住宅になってしまっている。しかしその当時から変わらなかったのが、庭の隅に植えられている一本の柿の木であった。実が多く成るわけでもなく、隣の家にはみ出している枝を切るのが面倒なだけの柿の木であった。

唯一私の役に立っていたのはイラガの卵、釣りするときの餌にするととても良く釣れた。今だからだが、やたらと他にも虫が付いていたように思う。手入れをするわけではないのでカイガラムシは多かったな、夏になればセミが早朝からやたらとうるさく鳴いていた。

そんな柿の木も一昨年の大風で倒れそうになったので切ることになってしまった。一本木が無くなるだけで庭の風景がこんなに変わるのかと思った。風景が変わるだけでなく、昼は家に入る陽が明るくなり、夜は隣の家の明りが眩しく思えた。

実家への行き来が多くなったけど、そんなに”庭を見る”ことがなかったが、最近掃除をしたときにかなりびっくりしたことがあった。

柿の木のあった場所、倒木更新なのか、単に庭を歩く人がいなくなった為だろうか、やたらと低い草が増え、いままで回り込んで来なかったツタも伸びてきた。

ああ、たぶんこのままこの家に住む人がいなくなったらこのツタが占領するんだろうなって勢いだ。

あと、ちゃんと庭を手入れをしている方には怒られるだろうが、キイロテントウが多くなってきた。たぶんどこか密生してるところにウドンコ病が発生してるんだろう。

探す時間がとれるといいが、早めに見つけて剪定しないと隣のおばちゃんに怒られる。

近くでは外環道のジャンクション工事が終盤になってきている、完成すれば交通量も増えるだろう。隣の大学もやたらと高い校舎を作り直しているし、大きなマンションの計画もでてきている。この庭が庭であるのはあとの位かわからないが、できるだけきちんと庭として手入れをしよう。



自然観察センターだより



2023年 4月号

2023年度 観察の森レンジャーのごあいさつ

尾崎 理恵 (チーフレンジャー)

年度のはじめにあたり、会員の皆様の観察の森へのご支援に改めてお礼申し上げます。初めてチーフを務めたのは10年以上前。あの時は東日本大震災が起こり、翌年度にはネイチャーセンターの改修という業務を体験しました。困難な状況にある時、いつも友の会の皆様に見守られ、支えていただきました。もう一度この横浜でチーフを務められることをうれしく思うと共に、身が引き締まる思いです。大久保（環境調査主担当）中沢（環境管理主担当）松本（環境教育主担当）有馬に加え、新しいメンバーの岡本、前村と若いレンジャーたちと共に年々成長できるようがんばります。何卒よろしくおねがいいたします。

はじめまして！

岡本勇太 (おかもと ゆうた)

東京港野鳥公園でパートとして働いてきましたが、嘱託職員の新規採用で横浜自然観察の森に着任となりました。インコが大好きで、オーストラリアで野生のインコを追いかけていました。日本の野鳥ではコアジサシとコゲラ、オナガが好きです。写真が好きなので、皆さまが横浜自然観察の森で撮影した作品を拝見する事をとても楽しみにしております。至らぬ点多々あると思いますが、よろしくおねがいいたします。

前村 真珠文 (まえむら ますみ)

4月よりパートとしてお世話になります。私が鳥を好きになったきっかけは学生時代近所の公園のバードウォッチャーからカワセミを教わったことです。興味を持つと知りたいことや見たいものが増え、カワセミが暮らせるような場所に行く！とワクワクするようになりました。私も誰かの「ワクワク」が芽生えるお手伝いができるように頑張ります！

お世話になりました！

掛下 尚一郎

このたび4月1日付で根室春国岱原生野鳥公園に異動することになりました。観察の森には約9年半勤務していたのですが、着任したのがつい最近のように思えて、本当にあっという間でした。友の会の皆さんを筆頭にたくさんの素敵な方々の支えがあったおかげで、指定管理に移行する大きな転換点やコロナ禍などを乗り切ることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さんと様々な思い出を共有できたことは大きな宝物です。いつまでも大切にしたいと思います。ひきつづき観察の森をご支援いただけますようお願いするとともに、ますますの皆さんのご活躍と会の発展を祈念しています！ありがとうございました。※4月22か23日までは観察の森に出勤しています

北村 匠

3月いっぱい、日本野鳥の会を退職することになりました。

1年という短い期間でしたが、大変お世話になりました。

コロナ禍のため、本来の賑わいのある友の会の活動やイベントを拝見できなかったのが心残りです。

またお会い出来たらうれしいです。ありがとうございました。

プロジェクト担当

事務局 (尾崎・中沢・松本)

ゴロスケ報々 (大久保)

ハンミョウの会 (松本・尾崎)

鳥のくらし発見隊 (松本・岡本)

森の絵本づくりの会 (前村・尾崎)

カワセミファンクラブ (松本・岡本)

昆虫調査隊 (大久保・松本)

雑木林ファンクラブ (中沢・岡本・前村)

畑プロジェクト (前村・尾崎)

PJ-STRIX (尾崎)

野草の調査と保護 (中沢・大久保)

定点カメラで動物調査 (岡本・大久保)

カエル調査隊 (岡本)

モニタリング1000 (大久保)



【おしらせ】 保安全管理フォローアップの会 ～桜林の植物たちのその後をしらべよう～

日時：6/10（土）13～15時

集合場所：自然観察センター 研修室

桜林（ミズキの道18-19番付近）の植生を調べ、過去の記録と変化を比べてみます。

※今年度のフォローアップは中沢・大久保・古南（(公財)日本野鳥の会施設運営支援室室長）が担当します。資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに中沢（nakazawa-k@wbsj.org）、または大久保（ohkubo@wbsj.org）までご連絡ください。

【報告】アライグマ(特定外来生物)の捕獲ワナ巡回結果報告

今シーズンのアライグマの捕獲活動が終了しました。11月29日から3月10日の期間でアライグマ10匹、タイワンリス30匹を捕獲することができました。2月からはヤマアカガエルの卵塊もたくさん見つかって捕獲の成果は引き続き出ているものと思います。一方で、ヘイケボタルの湿地ではカエルの産卵以降も毎日のようにアライグマの足跡が見つかって、日に日に卵塊が少なくなっていることも確認しました。このためワナの設置場所の変更も試みたものの、捕獲には至らず、次期への課題となっています。

また、今シーズンは長倉町で餌付けされていた2匹のネコの捕獲にも成功し、飼育希望者のもとに無事引き渡すことができました。

巡回やワナの設置には、友の会有志のべ46名もの方にご協力いただきました。ありがとうございました。



【募集】イベントサポーター！森の魅力一緒に伝えましょう、各回2名以上のサポーター募集中です。

●春の森 おさんぽラリー 5/3（水・祝）～/6（土）

子どもが好きな方大歓迎、スタート&ゴールで参加者へルール説明や案内を行います。

◎集合：9時半 ◎解散：16時過ぎ※部分参加OK

●ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場 6月の毎週土曜日 ※雨天の場合は翌日

ホタルを守る輪を広げよう！紙芝居の上演や、来園者誘導などマナーを伝える活動を行います。

◎集合：17時半 ◎解散：20時過ぎ

<レンジャーまでご連絡ください！E-mail：yokohama-nc@wbsj.org >



ボランティアさん
ありがとう



2月1日
～3月31日

- ・カワセミファンクラブのみなさま / 自然情報・園内の利用状況の情報提供
- ・野草の調査と保護プロジェクトのみなさま / 開花情報のご提供
- ・鳥のくらし発見隊のみなさま / 野鳥情報のご提供
- ・石川裕一さん・岸本道明さん・中里幹久さん / 映像確認のご協力
- ・石川裕一さん・今村修さん・岩崎俊秀さん・大浦晴壽さん・岡田昇さん・落合道夫さん・岸本道明さん・高橋睦さん・中里幹久さん・水上重人さん / 特定外来生物アライグマ防除へのご協力

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

指定管理者：



行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●ゴロスケカフェ カフェ再開します！
5/31(水)・6/14(水)・6/28(水)
10:00～14:00

どなたでも。お気軽にお立ち寄りください！

●森の作業体験(間伐体験)

開催日：5/27(土) 10:00～12:00

集合：10:00までに炭焼き小屋

対象・定員：5名(中学生以下は保護者同伴)

申込期間：4/26(水)～5/25(木)

申込：Fax. 045-894-8892(観察センター)

または、Eメール(entry@ynstomo.org)

担当：雑木林ファンクラブ

★森を守るボランティア体験

開催日：6/18(日) 9:30～12:00

申込：観察の森HPをご覧ください。

担当：雑木林ファンクラブ

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●季節の森を歩こう(対面開催)

～森の生き物と親しむ自然ガイドウォーク～

5/7(日)・6/4(日)

11:00～12:00

定員：先着15名

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で活動しています！

5/14(日)・6/11(日)

9:20～12:00(雨天中止)

定員：40名(事前申込、応募多数の場合抽選)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容等、詳細はブログ「森のできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●畑と作物をつくろう(活動再開！)

～生き物にあふれた畑を目指して～

6/17(土) 10:00～12:00(雨天中止)

定員：8名(事前申込、先着順)

対象：どなたでも

持ち物：農作業できる服装・軍手・飲料水

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：畑プロジェクト

●森の絵本を楽しもう(活動再開！)

～この森をテーマに作成した

手作り絵本の読み聞かせ～

5/17(水) 10:30～12:00

定員：10名前後

対象：どなたでも 申込：当日センターで受付

担当：森の絵本づくりの会

●モニ1000チョウ類調査・体験調査

～「環境省モニタリング1000里地調査・チョウ類調査」の模擬調査～

5/28(日)・6/8(木)

9:30～12:00(雨天中止)

定員：5名(事前申込、先着順)

対象：身近なチョウが10種程度分かる方で、小学生以上(小学生は保護者同伴)

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：昆虫調べ隊

●友の会 季節行事●(友の会会員向け)

●2023年度安全管理講習会

「ウィズコロナでの安全な活動や行事の運営」

開催日：5/21(日) 13:00～15:00

場所：自然観察センター研修室 原則対面

申込締切：5/14(日)

申込：プロジェクトリーダー経由または、Eメール(entry@ynstomo.org)

●自然観察センター主催行事●

■タッチーくんといこう！春の森

おさんぽラリー

森のみどころを探して歩こう！

開催日：5/3(水・祝)～5/6(土)

受付時間：10:00～15:00(所要時間30分)

対象：どなたでも

(3才～小学校低学年がわかる内容です。)

※小学生以下は保護者同伴 ※大人だけでも参加可
参加方法：観察センターか森の家口でシートを入手し各自散策。無料

■ホテル ゲンちゃんハイちゃんの紙芝居劇場

開催日：6/3(土)、6/10(土)、6/17(土)、6/24(土)

時間：19:00～20:00

対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

申込：不要 無料

※開催・中止はお電話にてご確認ください。

電話：045-894-7474(観察センター)

発行日 2023年4月16日

発行 横浜自然観察の森友の会

FAX 045-894-8892

E-mail: jimukyoku@ynstomo.org